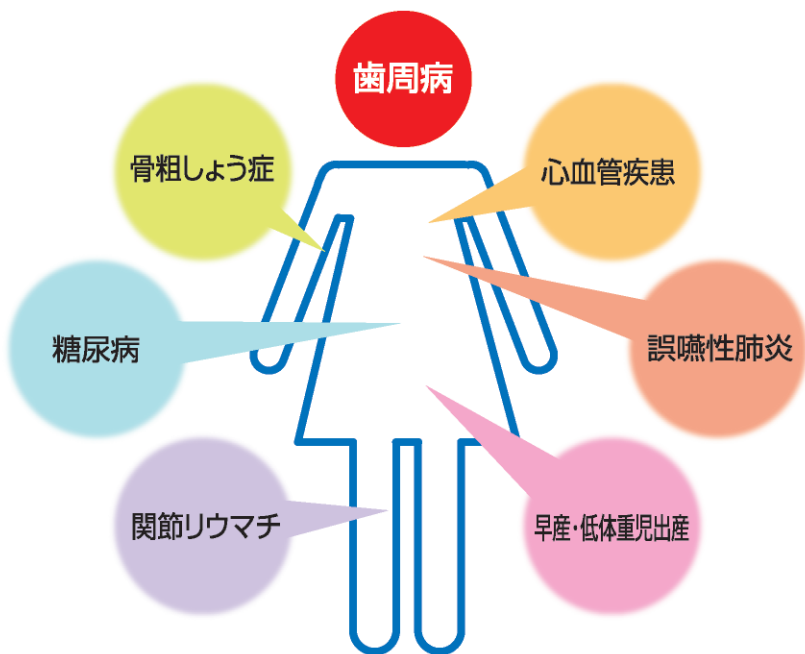


# 歯周病と全身疾患の関係

「お口の病気はお口の中だけのもの」と考えていませんか？

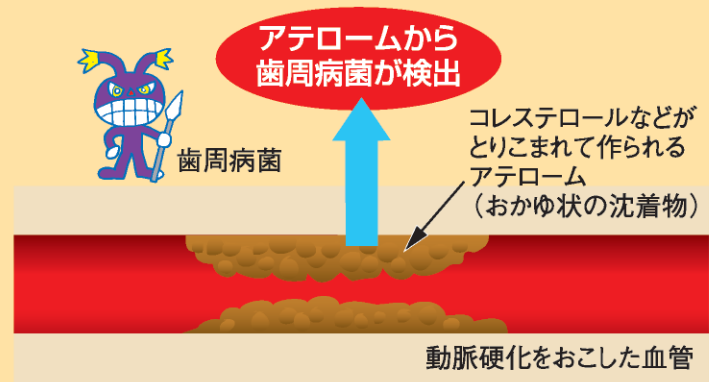
歯周病は、進行し重度になると、歯周病菌や歯周病菌が作り出す毒素、炎症によって作られる物質などが血液に流れ込み、様々な全身疾患と関係することが分かってきました。



全身の健康のためにも  
歯周病予防を!!



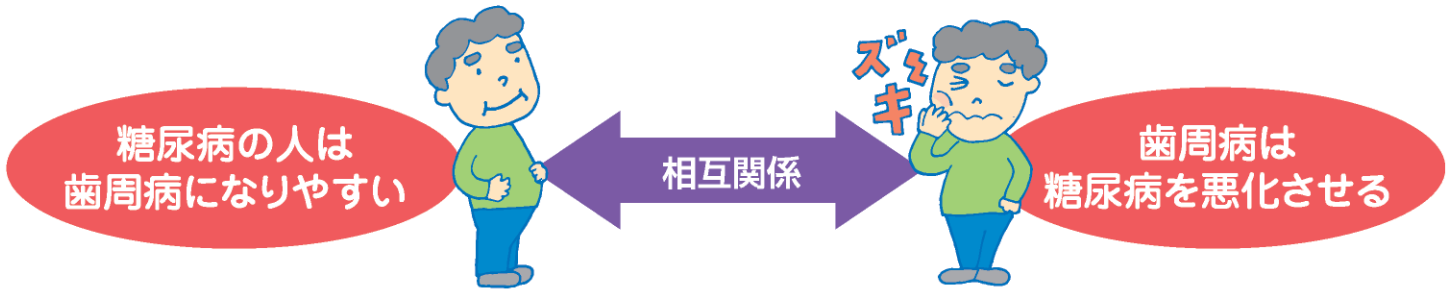
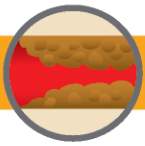
動脈硬化をおこした血管から、歯周病菌が見つかった!



## 歯周病が進行すると

- 歯周ポケットから歯周病菌が血液中に侵入
- 動脈硬化を起こしている血管に歯周病菌が感染
- 歯周病菌や歯周病菌が産生する内毒素、炎症性物質(サイトカイン)が血管壁に炎症を起こし、血管を狭める作用を促進

## 動脈硬化が進行



糖尿病の人は免疫力が低下して、歯ぐきの炎症がおこりやすくなるため、糖尿病が歯周病をおこしやすく悪化させるといわれています。また歯周病がひどくなると、炎症によって出てくる物質(TNF- $\alpha$ )によりインスリンの血糖値をコントロールする働きを妨げて、糖尿病を悪化させるといわれています。

